

ナラ枯れを確認したら◎県南広域振興局林務部

TEL.0197-22-2871

ナラ枯れ被害 注意!!

ナラ枯れは、
被害を見落とすと
さらに被害が拡大します。
見つけたら、ご連絡を!



ナラ枯れ被害とは、キクイムシが運ぶ「ナラ菌」により、コナラやミズナラなどのナラ類が秋になると集団的に枯れる被害です。この被害は西日本から北上し、山形県、秋田県などから岩手県にも押し寄せています。被害が拡大すると、ナラ資源の枯渇だけでなく、枯木の倒伏などにより土砂災害を招きます。

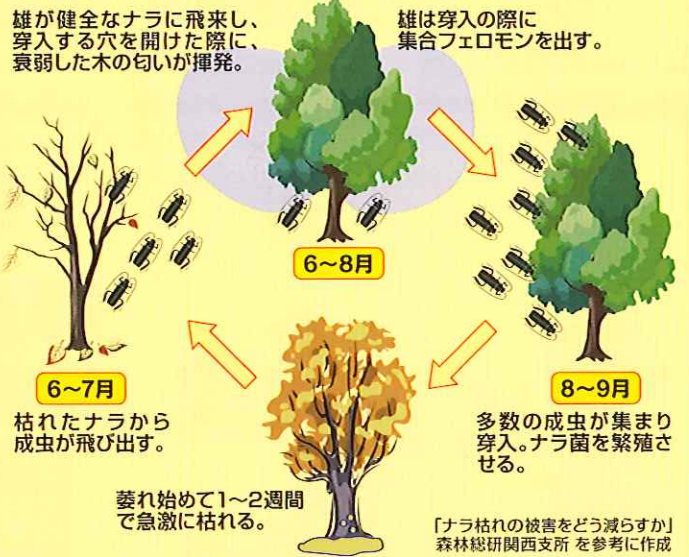
ナラ枯れ被害は どのようにして 発生するのですか。

ナラ枯れ被害は、カシノナガキクイムシという、長さ5mmの黒褐色の在来の甲虫が媒介する菌(通称「ナラ菌」)が木の中で繁殖することにより、木が水を吸えなくなるため枯れます。



カシノナガキクイムシ

被害発生のしくみ



ナラ枯れ被害の特徴は どのようなものですか。

ナラ枯れに遭うと、8月下旬から紅葉のように葉が一気に赤く枯れます。木の根元には、大量の木屑が発生します。特に、ミズナラが枯死しやすいです。



大量に発生した木くず

幹に穿入した穴(直径2mm)



赤く枯れた葉

ナラ枯れ被害の防除はどのような 方法がありますか。

被害にあった木を伐倒し、薬剤で殺虫します。また、健全な木に殺菌剤を注入し、ナラ菌の繁殖を抑える方法もあります。

ナラ枯れは、高齢な大径木が被害に遭いやすいことから、被害地の周辺では未然に伐採し森林の若返りを図ることをお勧めします。



薬剤で燻蒸した被害材



高齢ナラ林の伐採跡地



ナラ根株からのぼう芽

赤くなった広葉樹を見つけたら
県に連絡してください。

◆県南広域振興局林務部
◆花巻農林振興センター

0197-22-2871
0198-22-4932

◆遠野農林振興センター
◆一関農林振興センター

0198-62-9933
0191-26-1893